



バスラ日誌（4月23日）

1 MND (SE) 司令部J2について

昨日^{晩餐会}の晩餐会に参加させてもらった。のスタッフ総勢50名以上が参加し、結構盛大なとなった。J2は、大きく6つの部署に分かれている。その内訳は、

となっており師団司令部の

非常に充実している。私が机を置かせてもらって勤務しているのはASCというところであり、

司令部^{師団}の各部署からの情報はもちろんのこと師団隷下部隊、MNC-I、英国の上級司令部等から^{あつち}る情報が集約するところである。情報を収集するだけでなく、情報の分析もしており、情報要約書、MSR Threat Assessment、その他政治、宗教、犯罪の分野に渡り様々な文書を作成している。実際の仕事

の手順は、はっきり言ってよくわからないことが多いのだが、に集まって来る膨大な情報資料を

CCIR (Commander's Critical Information Requirement、自衛隊でいうところのEEI)に基づき分析し、情

報に^{網羅さ}転換しているようである。できあがった文書は、文字がメインだが使用者の必要な情報は概ね

れており、非常に参考になる。もちろんそうした文書は、サマワに送っている。

私は、自衛隊で情報関係の勤務をしたことがないので、バスラで初めて教範事項が実際の業務に反映さ

れている姿を目の当たりにしているような気がする。

晩餐会の話に戻るが、会食の最後に司会の号令のもと全員起立し、「For Queen」と会食者全員が唱和

した。やはりイギリスは女王の国なのだったと思った。私は密かに「For Emperor」と呟いた。(

隣のルーマニア人が、今日はイースター（復活祭）だと教えてくれた。私がイースターについ